

2020年10月25日 主日礼拝

司式：坂田長老

奏楽：山中

*以下、太文字の言葉はみんなで声を合わせます。

《神のみ前に近づく》

前 奏
序 詞 (ヴォタム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 205-1節 (今日は光が)

罪の告白 (声を張り上げないで共に祈ります)

父なる神さま、過ぎた一週間の私たちの罪を懺悔します。知らずに犯した罪も含めて洗い清めてください。あなたの祝福で満たしてください。

主よ、正しい信仰を貫こうと命をかけて戦った改革者たちの信仰を覚えませう。同時に、それ程までに神と人とを愛する者となっているかを問ひながらここに集っています。私たちの拠って立つ所はみ言葉であることを今一度確信させてください。

癒しと介護を必要とおられる方々、その介護と看病に当たっておられる方々、この社会や制度を維持し守るために働いておられる方々を支えてください。どうか、この世界と日本に、あなたのみことばの癒しの道を示してくださいませうように。

「あなたの重荷を主にゆだねよ

主はあなたを支えてくださる。

主は従う者を支え、とこしえに

動揺しないように計らってください。」

(詩編 55:23)

*しばらく黙祷の時をもちます

主よ、私たちの心と体をとらえ、生き返らせ、喜びで満たしてください。御名によって祈ります。アーメン。

讃美歌 32 (キリエ) = 座ったままで

赦しの確認と保証 (司式者のみ)

主の赦しと慰めの言葉をお聞きください。

*司式者がローマ書5章6～9節を朗読します。

アーメン。

聖歌隊による讃美 「地とそこに満ちる」(21-122)

《神のみ言葉の宣教》

聖書

詩編11編1～7節(旧p843) これは神の言葉です。

神に感謝します。

マタイによる福音書 26章36～46節 (新p53)

これはキリストの福音です

主なるキリストを賛美します。

み言葉を求める祈り (司式者)

讃美歌 302-1, 2節 (暗いゲッセマネ)

説教

『詩編⑪—鳥のように逃げろ』

祝福の祈り

武田真治 牧師

《神への応答》

讃美歌 452-1, 2節 (神は私を救い出された)

献金

奉仕者：伊藤 伊藤り

とりなしの祈り (司式者)

主の祈り 93-5 (ともに祈りましょう)

報告

讃美歌 27 (父・子・聖霊の)

祝 禱

武田真治 牧師

後 奏

報告と退場

＜先週の説教から＞

『黙示録③—小さな巻物をください』

イザヤ 55:8～11 ヨハネ黙示録 10:1～11

9章で6番目のラッパが終わり、次は7番目の最後のラッパが吹かれ、終末へと突入していくはずですが、その前に尚も神様が持たれるというのがこの箇所です。何を待っておられるのか？

まず「もう一人の力強い天使」が天からヨハネのもとへと遣わされます。しかも「手には開いた小さな巻物を持って」。そして、天からの声がヨハネに「さあ行って、巻物を受け取れ」と命じられます。しかもその天使は「受け取って、食べてしまえ」と言うのです。それでヨハネは「その小さな巻物を天使の手から受け取って」食べたのでした。すると「口には蜜のように甘く」しかし「腹は苦くなった」のでした。そのヨハネに対して、天からの声が「あなたは、多くの民族、国民、言葉の違う民、また、王たちについて、再び預言しなければならぬ」と命じられます。これは、預言者(=神の言葉を取継ぐ者)としての再召命でした。そのために巻物(ビブリオン、み言葉)を食べさせ、再び伝道者として立てと。

以上のことは、終末が間近であるにもかかわらず、最後の最後まで神様は悔い改める者、神様を信じる者を求めておられることを示しています。そのためには何度でも預言者・伝道者を興すと！

この再召命は、今も私たちの上に起こっていることではないでしょうか。状況が悪くても、あきらめずに語り掛けよと。そのためには、聖書・み言葉を自分への言葉としてしっかり食べ、消化することが大事だと。その上で語り出すのです。大ことは、神様が諦めておられないことです。いつでも、何度でも預言者、伝道者を興される！

本日の集会 礼拝前・求道者会； 礼拝後：聖歌隊練習牧会/礼拝/教育/社会/伝道 各委員会

受付：金刺 坂田 礼拝：金刺長老
お茶の会 当分の間休会です。